



水をたたえたあずき石



日光中の学校庭園

みごと優秀賞に 学校環境緑化コンクール

栃木県学校環境緑化コンクール(中学校の部)で、日光中学校がみごと優秀賞に選ばれました。昭和五十三年にもこのコンクールにはじめて出品し優良賞になっており、今回が二度めの受賞です。

同校は、昭和二十四年学校創設と同時に学校の緑化整備に意欲的に取りくみ、桜、プラタナス、イチヨウなどを植付け年々充実をはかってきました。

昭和五十三年からは、この緑化整備を本格的に始め、まず、校地内にある樹木、植物を調査し、一本一本にラベルをつけ、また、校舎裏の庭を整備卒業記念庭園としての建設をはじめました。この庭園に二年がかりで、日光

市役所前広場に 名石の水飲み場

市役所前広場に、八月中旬赤い石の水鉢がお目見え、冷たい水をたたえて、道行く人の渴きをいやしています。これは市が、日光名石あずき石で、工費八十万円をかけて建設したもので、二荒霊泉、磐裂霊水などに続く、日光の冷たい清らかな水を提供しようとする一連の工事。この水場の完成で、市民や観光客に喜ばれています。

夏の観光シーズンも終りに近づいた八月二十四日、誰かが投げ散らしたゴミを一扫しようと「クリーン日光キャンペーン」が大々的に行われました。

「クリーン日光」 大作戦

このように、先生や生徒あるいは地域の方々が一体となって作り上げた緑化は、生徒の勤労生産意欲の向上、情操教育の場として大いに活用されています。

この日参加した二百五十人の人たちは、一つ一つゴミを手で拾い、集められたゴミは、五トにもなりませんでした。



戦場が原での奉仕活動

ひとしきりではあってもきれいにしていける他はありません。

そこで、C.R.T 栃木放送、日光市、日光観光協会、環境庁日光国立公園管理事務所、日光市教育委員会、日光市婦人連絡協議会、日光ロータリークラブ、日光・今市・鬼怒川川治の各ライオンズクラブ、日光青年会議所、日光市連合青年団、ボーイスカウト日光第六団、日光市観光施設管理公社(財)自然公園美化管理財団日光支部、利根コカ・コーラボトリング(株)の人たち約二百五十人が協力して奥日光戦場が原周辺の清掃を実施しました。

んだ……激烈な洪水も十一時ごろには減水した……しかし、どの川の橋も流失してしまい、大字日光から西は、湯元までの間、中宮祠の大尻橋ただ一つが残っただけで、交通・通信とも断たれてしまったので、大谷川の両岸で、石文または弓矢の力を借りて通信した。しかし、幸にも、ただ一本だけ水中に切れなかつた通信線を発見し、午後四時ごろから東西両町で通話ができた。……二十九日、二社一寺の寄付で、大谷川に仮橋架設、翌三十日午前九時ごろ成功して、金谷ホテル西脇に通路を開き、通行を開始できた。……家屋流失全壊六十七戸、半流失半壊二十八戸死亡、行方不明四十二人……含満が洲石像流失二十余……裏見滝通路の茶屋すべて流失落ち口岩石欠壊、原形を損じた。……中宮祠拝殿破壊、中禅寺立木観音堂(中宮祠わきにあつた)は、六尺(一・八尺)の泥に埋まる……など記されていて、最後に、「今回ノ風水害ヲ古老ノ伝フル所ニ依レハ前代未聞ノ災害ナレハ記録ヲ閱スルモ三百年以来嘗テ謂伝ナキ天災ト云ヒリ右ハ其当時ノ状況概略具申候也 明治三十六年七月二十五日 日光町長 藤沼伝郎」と結んである。